



つき組 生活発表会

『みんなのぼうけん』



日 時 令和3年 11月18日(木)

9:20 開場

9:30 開演

場 所 下中幼稚園 遊戯室

※開場までそら組でお待ちください。

【お話ができるまで】

第2学期に入り、子どもたちに生活発表会について投げかけると、「やりたい。」「去年は忍者になったよ!」など昨年の楽しかった経験を思い出し、『生活発表会をしよう!』『家の人を呼ぼう!』と全員の意見が一致し、取り組みが始まりました。『何を見てもらうのか。』『どんな話にするのか。』と話し合いを進める中で、「遊んでいるところを見てもらいたい。」「冒険に行こうよ。」「お店屋さんがしたい。」といろいろな意見が出て、つき組のやりたいことを詰め込んだお話をつくることになりました。

遊戯室で遊びながら、「みんなで冒険したいね。」「船に乗っていこうよ。」「お弁当を持って行こう。」「宝を発見したいね。」とイメージがどんどん広がっていきました。

イメージが広がる中で必要な大道具、小道具作りも始めました。冒険に出発した後に使う道具類は、何度も相談しながら、デザイン、色などを決めました。自分の意見を友達にきちんと伝えるところがつき組の良いところですが、思いが強い分、意見が分かるとなかなか自分の意見を変える事が難しいこともありました。それでも友達に自分の意見をきちんと伝えること、友達の考えをきちんと知ることを経繰り返す中で、「〇〇ちゃんの意見が良いと思う。」「それ、いいね。」と友達の意見を認める言葉がたくさん聞かれるようになり、心を一つにして取り組む姿がたくさん見られるようになりました。このような過程を経て作った大道具、小道具も発表の一部です。ぜひ、注目してください。また、実際に道具を使って遊ぶ中で、役になりきった子どもたちから自然と出てきた言葉が、そのままセリフとなっています。初めはセリフとして決めると緊張してしまう様子もありましたが、繰り返し取り組む中で自信をもって言えるようになってきました。当日は普段と違う環境に戸惑うことも予想されますが、取り組む過程の中で、十分頑張っていました。そんな取り組みの様子を想像しながらたくさんの温かい拍手の応援をよろしくお願いします。





【登場人物と設定】

下中家の家族	『下中家』の家族は、一緒に遊んだり、みんなで料理をしたりいつも仲良しです。
お店屋さん（下中家の友達）	お祭りの屋台でお店を開いている2人は、下中家の友達で、仕事のないときには下中家に遊びに行きます。

【あらすじ】

ある島に下中家というなかよし家族が住んでいました。下中家に友達が来て、みんなで遊んでいると、遊びに来た友達はお祭りでお店を開いていたので、下中家の家族をお祭りに誘いました。下中家の家族がお祭りに行き、金魚すくいやかき氷屋さんなど屋台を楽しんだ後、お店屋さんに冒険の地図を見せてもらい、宝を探しに冒険に行こうと誘われます。料理上手な下中家の家族はお弁当を作って冒険に出かけました。船に乗って宝がある島を探したり、島に着いた後もみんなで探検したりしながら宝を探します。いろいろな危険やピンチを乗り越えて無事に宝を見つけることができるでしょうか…。

【みどころ紹介】

○オープニング

「生活発表会を頑張るぞ!」という気持ちを込めて、『ばななくんたいそう』を踊ります。曲に合わせて手拍子をしながら子どもたちの踊る姿を応援してください。



○下中家



第1学期から遊戯室で大きなソフト積み木やキングブロックを組み合わせ楽しんできた家づくり。第2学期に入ると、保育室でも「わたしは、お母さんね。」「私は、お姉さん。」「お姉さんって中学生にする?それとも小学生?」と家族の設定で役になりきりみんなでご飯を食べたり、家の中で遊んだりして『おうちごっこ』を楽しんできました。

下中家に友達が遊び来ます。今日は、みんなで何をして遊ぶのでしょうか。おたのしみに!





○祭り

生活発表会でやりたいことを話し合う中で、「お店屋さんをやってみたいな。」という意見ができました。第1学期には、アクセサリー屋さんを開きましたが、「何屋さんにする?」「お客さんも必要だよね。」「お祭りのお店とかはどう?」と話し合う中で、金魚すくい屋さんとかき氷屋さんを開くことになりました。

友達に誘われ、下中家の家族はお祭りに行きます。祭りでは、友だちの店の『金魚すくい』をしたり『かき氷屋さん』でかき氷を買ったりします。子どもたちの好きな遊びの一つである『お店屋さんごっこ』お店の商品である、金魚やかき氷、お店に必要な道具を毎日コツコツと作りました。そんなお店の品物や、お店屋さんとお客さんのやりとりをお楽しみください。



○お弁当作り

冒険ごっこでは、双眼鏡、ナイフ、ライトなどそれぞれがイメージしたいろいろなアイテムを作り、それを使って冒険を楽しんでいましたが、全員が作ったアイテムが『お弁当』でした。つき組の子どもたちにとって冒険にはお弁当が必須なようで、船の中、冒険先、などでお弁当を広げみんなで食べるという設定を楽しんでいました。

お店屋さんに宝探しの冒険に誘われた下中家の家族は、冒険に行くためにお弁当を作るという場面があります。子どもたちはイメージを膨らませ、弁当作りに挑戦します。子どもたちのモデルとなるのは家で料理をするお母さんかな?料理をする姿に注目してください。

○船の旅

第1学期に始まった冒険ごっこでは、「船に乗って冒険がしたい。」と2～3人が乗れる船を3隻作り、オールを漕いだり、船から危険な物を探したりして船旅を楽しんでいました。

発表会では、船に乗って、『冒険の地図』にある宝がある島を探しに出かけます。『船に乗っているとどんなことが起こるかな』と子どもたちがいろいろなことを想像し、相談しながらお話作りを楽しみました。子どもたちは、船旅で起こる様々な危険を楽しみながら乗り越えていきます。一人一人の表現に注目してください。



○島の探検

冒険ごっこでは、宝箱や宝を作り、隠したり、見つけたり役割を交代しながら楽しんできた宝探しゲーム。遊戯室で遊ぶ時のお楽しみとなっている巧技台の遊びを島の探検をしながら披露します。

宝があると思われる島に着いた子どもたちは島の中を探検に出かけます。さあどんな冒険になるのでしょうか！お楽しみに。



○ハンドベルの演奏

クラスの活動で取り組んできたハンドベル。繰り返し遊びベルの音色を楽しんできました。子どもたちも「生活発表会で家の人に聞いてほしい。」と演奏を楽しみにしています。

心を一つにして演奏します。優しい音色に耳を傾けてください。

